

番号	30 - 5	申請者	撮影透視主任放射線技師 西 祥吾
<p><b>【審査申請課題】</b></p> <p>呼吸同期法における呼吸センサー設置方法の検討</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b></p> <p>上腹部MRI検査において、呼吸運動によるモーションアーチファクトを軽減する撮像手法に、呼吸センサーを併用した呼吸同期撮像法が用いられる。しかしながら、この手法は、呼吸センサーを腹部前壁に設置することで、腹壁の動きを呼吸波形として検知するため、従来の呼吸センサーの設置方法(腹部正面に横置き)では、腹部大動脈における拍動などの影響をうける。そのため、しばしば安定した呼吸波形が検知されず、位相エンコード方向にモーションアーチファクトが発生し、画像診断の妨げになっている。</p> <p>本研究の目的は、呼吸センサーの設置方法を検討することで、従来の設置方法より安定した呼吸波形が検知可能であるか検討を行う。</p>			
審査結果	承認 ( 平成30年8月22日 )		